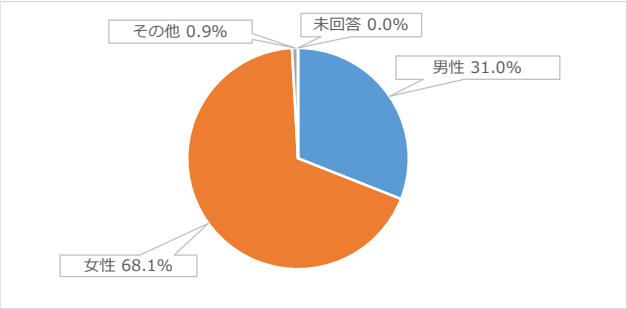


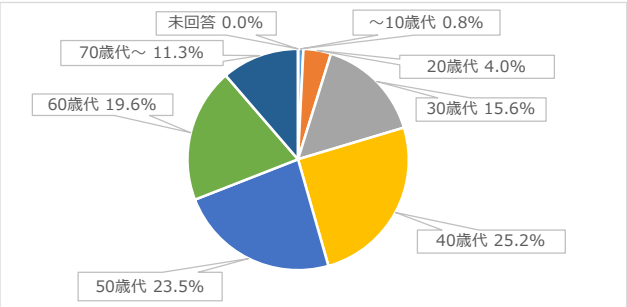
テーマ
調査期間
担当課
回答者数
属性

名古屋市の自転車通行空間について
令和8年6月10日から令和8年6月16日
緑政土木局自転車利用課
4,487 人

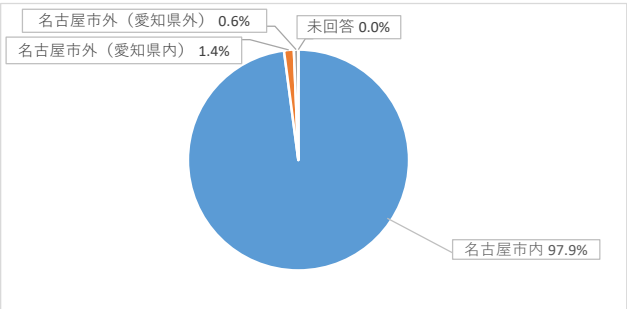
性別	回答数	比率
男性	1,390	31.0%
女性	3,057	68.1%
その他	39	0.9%
未回答	1	0.0%



年齢	回答数	比率
～10歳代	34	0.8%
20歳代	181	4.0%
30歳代	698	15.6%
40歳代	1,132	25.2%
50歳代	1,056	23.5%
60歳代	878	19.6%
70歳代～	507	11.3%
未回答	1	0.0%



居住地	回答数	比率
名古屋市内	4,393	97.9%
名古屋市外（愛知県内）	65	1.4%
名古屋市外（愛知県外）	28	0.6%
未回答	1	0.0%



質問

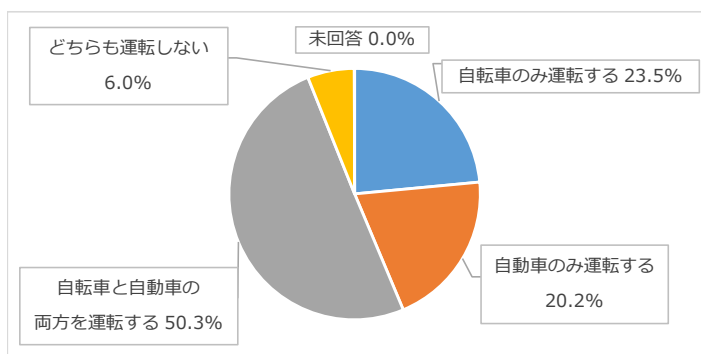
単一回答

Q 4. 自転車や自動車を運転しますか。

回答者数

4,487 人

	回答数	比率
自転車のみ運転する	1,054	23.5%
自動車のみ運転する	905	20.2%
自転車と自動車の 両方を運転する	2,256	50.3%
どちらも運転しない	271	6.0%
未回答	1	0.0%

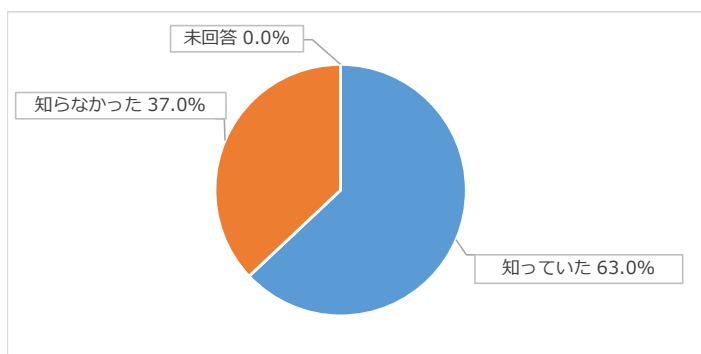


Q 5. 名古屋市内で車道に自転車通行空間（自転車レーンなど）の整備を行っていることを知っていましたか。

回答者数

4,487 人

	回答数	比率
知っていた	2,825	63.0%
知らなかった	1,661	37.0%
未回答	1	0.0%

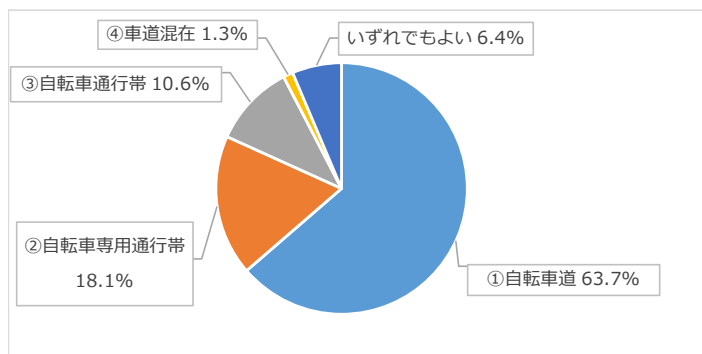


Q 6．車道の自転車通行空間は、どの形態がいいですか。

回答者数

4,487 人

	回答数	比率
①自転車道（交通規制の変更）自転車と歩行者の通行位置を縁石・柵等によって構造的に分離しています	2,856	63.7%
②自転車専用通行帯（交通規制の変更）車道の左端を着色し、自転車と自動車の通行位置を視覚的に分離しています	812	18.1%
③自転車通行帯（矢羽根型路面表示）車道の左端に矢羽根型路面表示を設置し、自転車の通行位置を示しています	476	10.6%
④車道混在（矢羽根型路面表示）自転車の通行空間を車道に明示し自転車と自動車が車道内で混在することの注意喚起を行っています	58	1.3%
いずれでもよい	285	6.4%

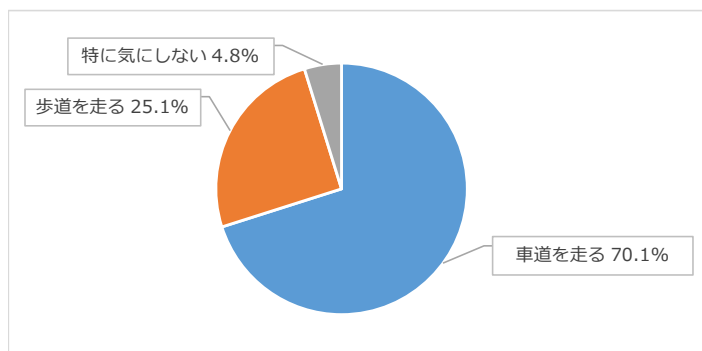


Q 7．車道に自転車通行空間の整備がしてある場合、自転車でどこを走りますか。

回答者数

4,487 人

	回答数	比率
車道を走る	3,145	70.1%
歩道を走る	1,128	25.1%
特に気にしない	214	4.8%



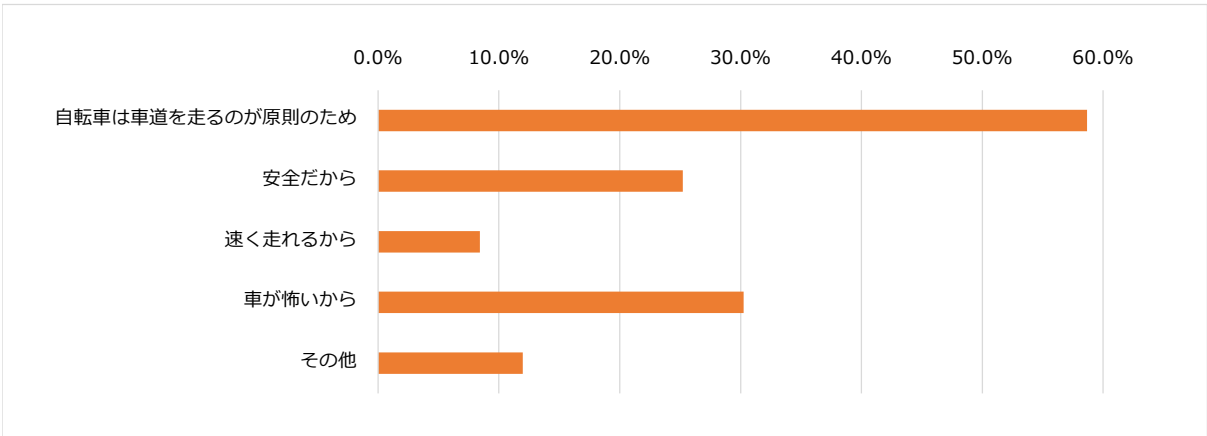
質問

複数回答

Q 8. Q 7でその回答を選んだ理由を教えてください。（複数回答可）

回答者数 4,487 人

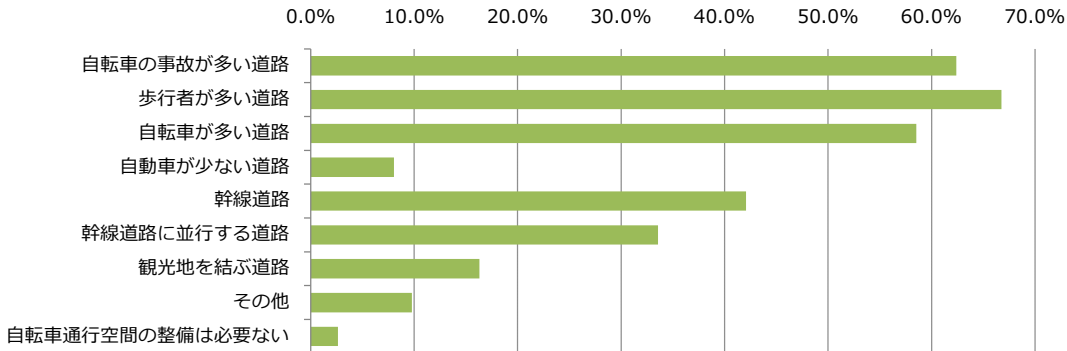
選択肢	回答数	比率
自転車は車道を走るのが原則のため	2,632	58.7%
安全だから	1,131	25.2%
速く走れるから	378	8.4%
車が怖いから	1,357	30.2%
その他	538	12.0%



Q 9. 今後、自転車通行空間を整備すべき道路はどれだと思いますか。（複数回答可）

回答者数 4,487 人

選択肢	回答数	比率
自転車の事故が多い道路	2,799	62.4%
歩行者が多い道路	2,995	66.7%
自転車が多い道路	2,626	58.5%
自動車が少ない道路	361	8.0%
幹線道路	1,888	42.1%
幹線道路に並行する道路	1,506	33.6%
観光地を結ぶ道路	732	16.3%
その他	439	9.8%
自転車通行空間の整備は必要ない	118	2.6%



質問

Q 1 0．名古屋市の自転車通行空間の整備について、自由にお書きください。

Q 8, Q 9 でその他を選んだ方は具体的にお書きください。

【抜粋】

- ・車道の通行空間の幅を十分確保し、柵などでしっかり分離してほしい。
- ・車道に自転車通行空間があると走りやすい。どんどん整備してほしい。
- ・自転車通行空間があっても自動車が路上駐車していて通れない。
- ・自転車レーンが青く色分けがされていても、幅が狭く自動車との距離が近いため走るのが怖い。
- ・車の交通量が多い幹線道路などは通行空間があっても怖くて走りにくい。
- ・駅近くや教育施設、通学路などを優先して通行空間を整備してほしい。
- ・自転車通行空間の整備前に法改正が先んじているため、自転車が車道を通行するのは非常に危険。
- ・自転車通行空間整備も進めてほしいが、並列走行や右側通行などルール違反する自転車の取り締まりも強化すべき。
- ・自動車、自転車運転者及び歩行者への交通ルールとマナーの啓発、周知が重要。